

自然教育園におけるカモ類 (2013 ~ 2019 年)

渡邊昭廣*

東京都品川区

Akihiro Watanabe: Ducks in the Institute for Nature Study. Miscellaneous Reports of the Institute for Nature Study (52): 45-50, 2020.

Shinagawa-Ku, Tokyo

はじめに

自然教育園にはひょうたん池, 水生植物園の池, イモリの池, 水鳥の沼の4カ所の池がある。その池には各種のカモ類が飛来する。

2013 ~ 2019 年の7年間に自然教育園に飛来したカモ類としてはカルガモ, コガモ, キンクロハジロ, ホシハジロ, マガモの5種類でこれらについてまとめてみた。

カモ類の見られる頻度

2013 ~ 2019 年に確認されたカモ類の頻度 (日数) を表1, 図1にまとめた (年間250 ~ 270日前後の観察結果)。

カルガモが毎年よく飛来していることがわかる。

キンクロハジロ, コガモ, ホシハジロ, マガモは毎年飛来することなく, 時折カルガモの群れに混じって飛来しているようだ。

表1. カモ類が確認された各年の頻度 (確認された日数).

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
カルガモ	49	57	77	94	106	92	95
キンクロハジロ	0	0	29	1	0	0	8
コガモ	0	1	3	1	1	8	0
ホシハジロ	0	7	0	5	0	6	1
マガモ	0	1	0	0	0	0	9

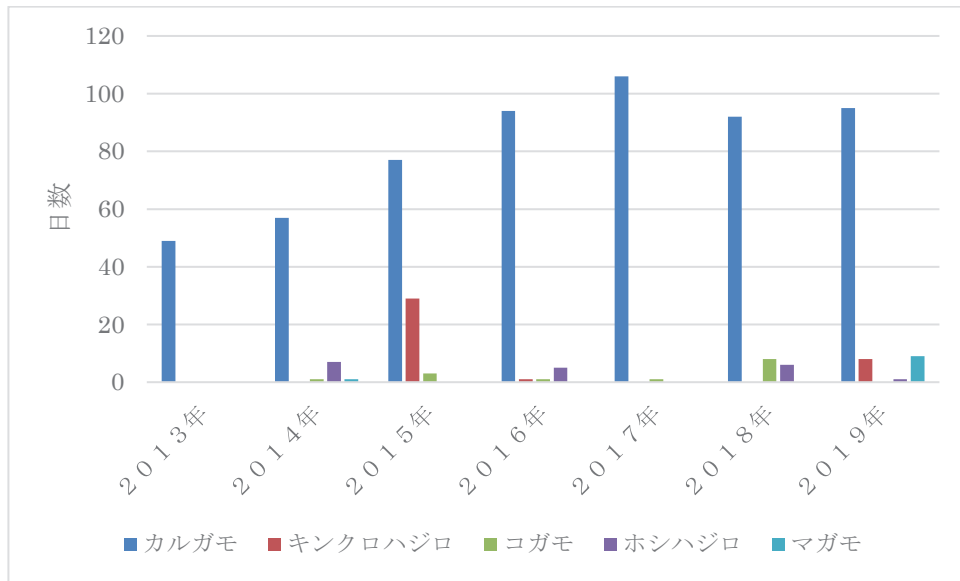


図1. カモ類が確認された各年の頻度 (確認された日数).

カルガモ

自然教育園でよく見られるカルガモだが、2013～2019年に確認されたカルガモの月別頻度(日数)を図2にま

とめた(年間250～270日前後の観察結果)。

自然教育園でのカルガモはほぼ1年を通じて見られ、特に3～6月、10～12月によく見られた。

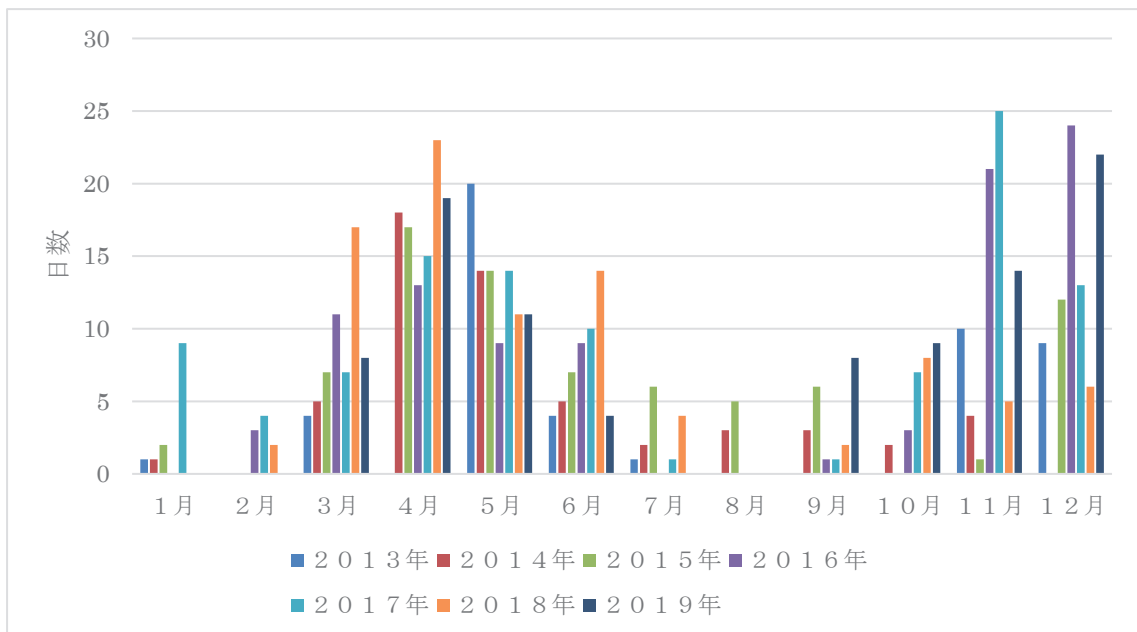


図2. カルガモの月別確認頻度.

カルガモは黒いクチバシの先に黄色の模様、顔が白く、目を通して黒い線があり、全身が茶褐色である。また、

オス・メス同色で識別が難しく、オス・メスのつがいで飛来し、2羽で泳いでいることが多い。



2019/4/25



2016/6/19

2013年5月には11羽の雛を連れて、池を泳いだり、道を散歩している姿がみられたが、以後自然教育園では雛を連れてくる姿は見られていない。2016年・2017年

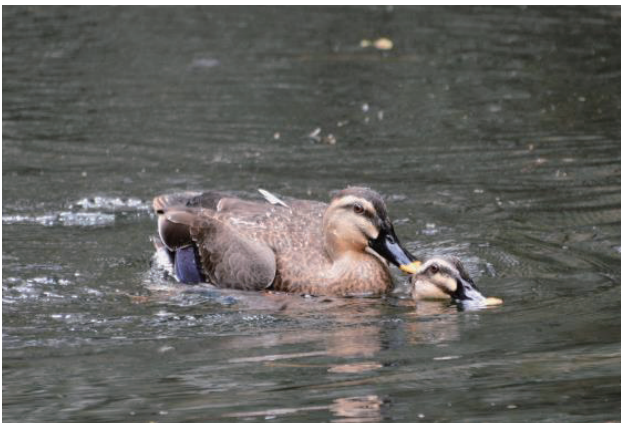
には最初2羽が群れから離れ、首を振る求愛行動ののち、交尾している姿は時折見られる。



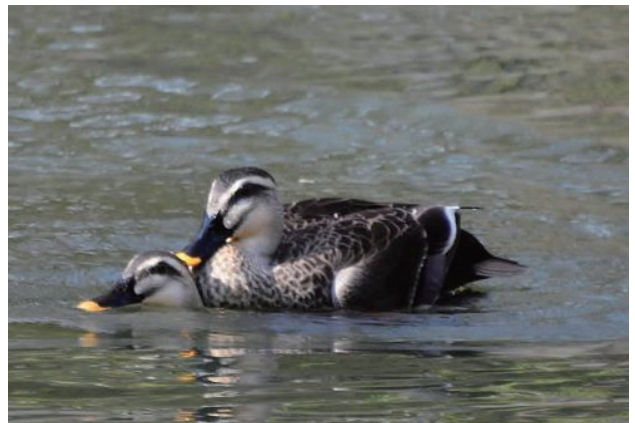
池を泳ぐ 11羽の雛 2013/5/6



道を散歩する 11羽の雛 2013/5/9



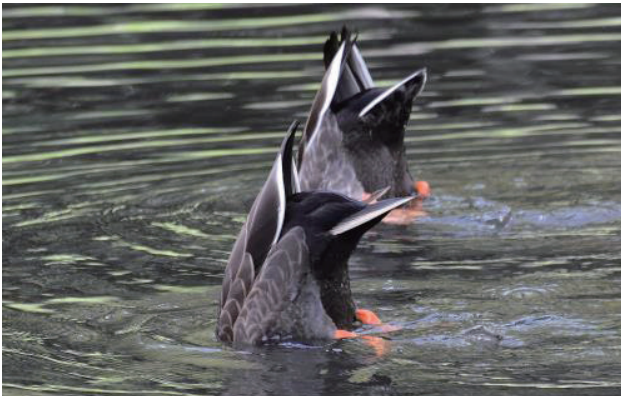
交尾する姿 2016/3/21



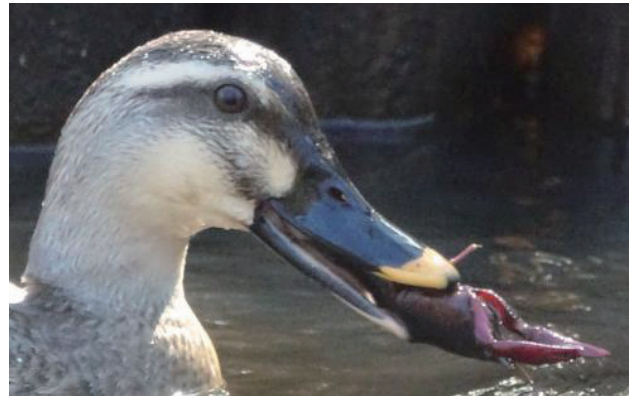
交尾する姿 2017/4/7

池に沈んでいる枯葉を水の中に頭を入れ尾を立てて食べている姿や陸に上がってドングリ等を食べている姿が

見られる。ザリガニも食べているようだ。



頭を入れ食事 2015/4/9



ザリガニを食べる 2020/3/12

2019年11月には30羽以上の群れが飛来し、2020年3月でも多くのカルガモが見られる。2020年には雛が見ら

れることを期待している。



2019/11/21



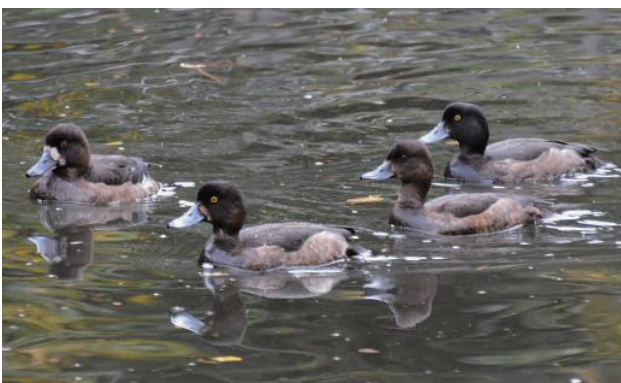
2019/12/9

キンクロハジロ

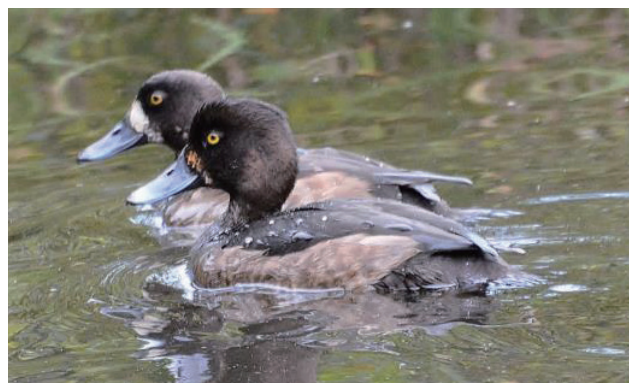
自然教育園で見かけるキンクロハジロはメスばかりで

オスは見かけられなかった。

2015年には群れでやってきたが、他の年は1羽でカルガモに紛れてきたようだ。



メス 2015/11/10



メス 2015/11/12

コガモ

オスは頭部が茶色で目のまわりから首にかけて緑色を

している。

2015年は群れで飛来し、2018年はつがいで飛来してきました。



上オス, 下メス 2015/11/10



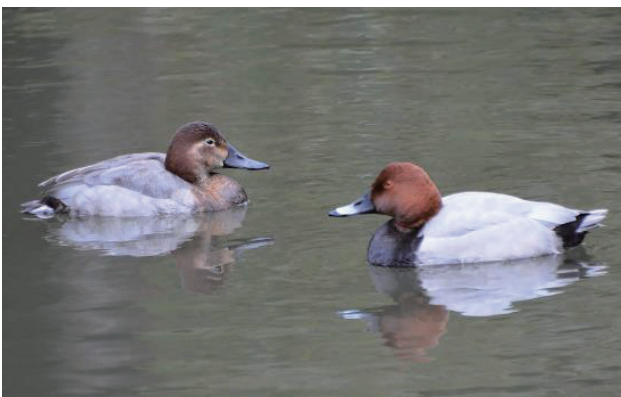
2015/11/12

ホシハジロ

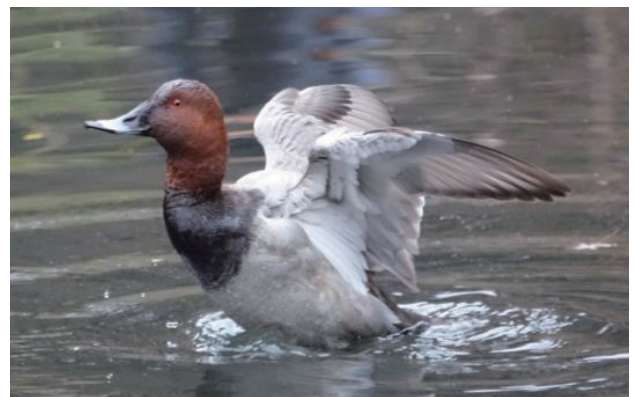
ホシハジロのオスは茶色い顔と黒い胸をしている。

飛来した時はほとんどオス1羽でカルガモの群れに紛れ込んできているようだ。

水中に潜って餌を捕る様子がみられた。



左メス, 右オス 2016/11/12



2019/12/21

マガモ

オスはくちばしが黄色で、頭は光沢のある濃い緑色で、首に白い輪がある。

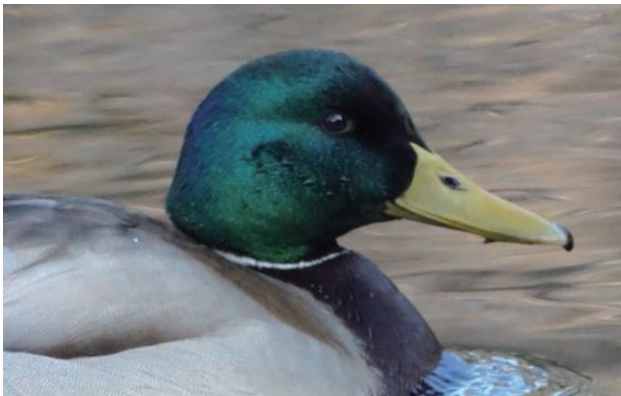
2019年以前はオス1羽が時折見られたが、2019年にはオス・メス各2羽合計4羽が2019年12月～2020年1月まで見られた。カルガモと一緒に行動していた。



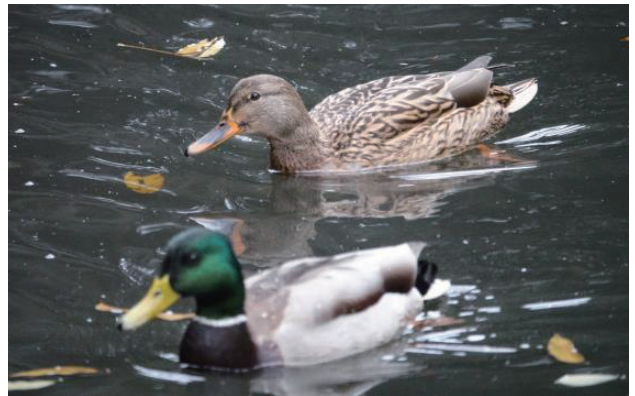
マガモのつがい 2014/2/25



カルガモの群れの中で 2019/12/27



オス 2019/12/24



2019/12/24

謝 辞

この撮影記録をまとめるにあたり、ご指導いただいた矢野亮名誉研究員にお礼を申し上げます。